

札幌市内の小中高生 夏休みの思い出に HTBで職場体験 テレビの「仕事」と「やりがい」を知る

2025年8月4日（月）

8月4日、札幌市内に住む小学校、中学生、高校生ら15人が職場体験のためHTBを訪問しました。参加したのは市が進めている家庭学習支援ボランティア事業「さっぽろ・まなトピア」の子どもたちで、ネットデジタル事業部の河野暁之副部長が講師を務めていることから、事務局の依頼を受け実現しました。

子どもたちは、取材、撮影、音声、テロップ制作や映像編集などの仕事場を見て、1つのニュースが出来上がるまでに多くの人たちが関わっていることを知りました。その後「テレビ局の心臓部」といわれる主調整室が365日休みなく稼働していることを学んだほか、情報番組「イチモニ!」「イチオシ!!」を放送しているスタジオでは、森さやかアナウンサーからテレビの仕事の魅力を聞いたり、技術スタッフの指導のもとカメラを操作を体験していました。

参加した子どもたちは「どのように番組ができるのか知れてよかった」「普段は入れない場所が見られて貴重な時間だった」と話していました。

